

# F-wave

藤沢市市民活動支援施設情報誌「エフ・ウェーブ」

## 特集：支援施設サポーターによる市民まつり



藤沢市民まつり支援施設ブース

今年9月に開催された第49回藤沢市民まつり。「藤沢で活躍する市民活動・NPO団体がにぎやかに集まる【藤沢NPO横丁】」というテーマで藤沢市市民活動支援施設ブースを出展いたしました。このテーマは支援施設サポーターの皆さんが話し合いを重ねて決めたものです。市民まつり当日は支援施設サポーターがブースに集まり、「市民活動団体が販売している商品の代行販売」と「市民活動団体紹介冊子の配布」を行いました。今回のF-waveでは、市民まつりにブースにて活動支援していただいたサポーターの皆さんに、活動のご感想を伺いました。

### 【サポーター：村松麻美さん】

「市民行事のお手伝いをしてみたい」という気持ちはあったものの、「若い人にお任せすればいいのではないかと」気後れしていました。今回はスタッフの方に直接声をかけて頂いて参加しました。ボランティアに関する冊子を配布するのが主な役割で、最初の一冊を配布するには勇気が要りましたが、その後は順調にできたと思います。冊子にはいろいろな団体が紹介されており、その団体の活動を知る良い機会となりました。お祭りという「ハレ」の場だったこともあり、賑やかで、子どもや、若い人も多かったので、華やかで楽しい1日となりました。

(次ページに続く)



## 支援施設サポーターによる市民まつり

【サポーター：かいひさこさん】

初日朝9時に市民活動推進センターに集まり会場に荷物を運んでいきました。どうしたら手に取ってもらえるのか、見やすいかを考えながら、センターの方とサポーターで準備しました。

10時頃には多くのブースが活動を始めました。サポーターで何力所かに分かれて団体紹介の冊子を配り、声をかけました。忙しく行き交う人も多いのですが冊子を手に取ってくださる方や景品のしおりを褒めてくださる方、どら焼きなどの商品について質問してくださる方がいらっしやり、対応しました。

以前のサポーターミーティングで、どうやったら立ち止まってもらえるか、冊子を受け取ってもらえるかなどと話し合ったのですが、ここにつながっているんだなぁと納得しました。



団体商品の代行販売

【サポーター：kurominさん】

普段はF-waveの封入作業にしか関わったことがなく、初めて藤沢市民まつりのブース出展に参加しました。3連休中日もありスーツケースを引く観光客も見受けられ、ブース前の通路には多くの通行人でした。人の流れの中で団体冊子の配布は、一瞬で手渡すだけが精一杯で、内容説明をするのは難しいところが残念でしたが、皆さん好意的に受け取って下さいました。各団体活動を少しでも知るきっかけとなり、関心や寄付活動に繋がっていくことを願います。

【サポーター：かどゆきさん】

地元のことを知ろうと、今年サポーターに登録。はじめての支援が市民まつりブース出展のお手伝いでした。団体紹介冊子添付しおりがサポーターの手作りと聞いてびっくり仰天、ベテランサポーターの活動の様子や他のブースの方たちとお話することができて良かったです。これからもチャンスがあれば参加し、他のサポーターさんとの交流もしていきたいと思いました。

高齢化社会の現代、会社勤めを終えた方が沢山増えると思います。何かしたいという方たちが沢山いるはず。これからもっと各支援団体の具体的な活動内容を市民の皆さんに周知する企画があればいいなと思いました。

【サポーター：松村はるみさん】

支援施設ブースの前で団体活動紹介冊子を配りながら、行き交う人々の表情から、この人は市民まつりで期待する人や販売物や活動に出会えたのだろうかと思っていました。そして、配っている冊子には多くの豊かな出会いが込められているのに、そのことをもっと知ってほしいと願いがさらに強くなりました。次回のブースには「NPO横丁」ののぼり旗をたてましょう！



団体紹介冊子の配布

(取材・記事執筆：支援施設サポーター F-wave 班)

## 団体紹介

### 藤沢市市民活動支援施設 サポートクラブ

【設立】 2002年7月

【連絡先】〒251-0052

藤沢市藤沢1031

アーバンセンター藤沢 2F

0466-54-4510

<https://fujisawa-npo.jp/about/supporter>



支援施設サポートクラブは支援施設サポーターの集まりで、市民活動のサポートをしたい方、市民活動に興味がある方たちがサポーターとして登録しています。

できる事をできる範囲で関わりながら、市民活動について知ることができます。この取り組みを通じて、市民活動支援施設だけでなく、地域社会や地域で活躍する市民活動団体で、活躍する人材が増えることを願います。

サポーターに登録をご希望される方は、左記webページからお申込み下さい。



藤沢市市民活動支援施設では、市民活動団体向けの助成金等の情報を発信しています。ウェブサイト (<https://fujisawa-npo.jp/support>) への掲載の他、館内でも掲示しています。当施設でも認識できる限りの情報を集めておりますが、より利便性を高めるため、他のウェブサイトもご紹介しています。

今回のNPOTIPSでは、当施設でご紹介している助成金等の情報ページについてお伝えします。

### NPOcafe（藤沢市市民活動支援施設）

当施設のウェブサイトでは、藤沢市域や神奈川県域を対象とした助成金等を優先的に掲載しています。全国域、分野別などの情報も集めていますが、登録団体の活動していない地域を対象とした助成金は掲載しない場合があります。

### CANPAN（日本財団）

日本財団が提供する公益事業コミュニティサイトです。全国域を対象とした助

成金等の掲載が早く、募集件数や金額の多い助成金を探す際におすすめです。一方で、分野別検索ができないため、助成金等の名称などから閲覧する情報を判断する必要があります。

### 補助金等公募案内（中小企業庁）

中小企業庁による企業支援の補助金は、収益事業を行うNPO法人等も申請できる場合があります。補助金は雇用規模などの条件において、助成金と比較すると細かく設定されている場合が多いので、申請の際には公募要領や申請書類をよく確認する必要があります。

例年助成金の公募を行う財団等の情報については、その年の募集情報が未公開でも、支援施設内の助成金ガイドなどから探すことが出来ます。初めて応募する時など、ご相談事項がございましたら、お気軽にお声掛けください。活動の分野や条件に応じて、申請できそうな助成金等をご一緒にお探しします。(せ)



## 社会教育委員会のオシゴト再び

2001年に藤沢市市民活動推進センターが開設されてしばらくして「藤沢市社会教育委員会」の構成員である「社会教育委員」となった。当時の担当者からは、「社会教育とは、学校と家庭以外の広く社会で行われる教育です。藤沢市は、公民館をはじめ公的な施設での講座や青少年教育向け事業など、社会教育活動が大変活発に行われています。その状況ではありますが、近年、市民や民間で実施されている社会教育活動が進んできているので、ぜひ市民活動やボランティア活動、NPO活動の要素や知識も取り入れて会議運営をしていきたい。」と誘われ、委員に就任した。8年在籍し、藤沢市内で実施されている社会教育活動の現場を多く訪問し、議論を重ね、毎年報告や提言を委員が筆を執り、中心となって作成してきた。2009年には「藤沢市に望まれる社会教育コーディネーター」と題し、当時様々な分野で「つなぐ役割」としてクローズアップされつつあったコーディネート機能の強化が社会教育分野でも喫緊の課題であると考え提言をまとめて提出した。

そして、2024年夏に再び就任することとなった。その間の藤沢市の社会教育行政の変化は著しく、生涯学習の拠点として藤沢公民館内に設置されていた藤沢市生涯学習活動推進室(フラッポ)は2023年度を以て閉室となった。2024年9月10日に開かれた市議会総務常任委員会では、2025年度から市民センターと公民館を一体化する方針が明らかになった。人口減少や少子超高齢化、生産年齢人口(15歳以上65歳未満)の低下が将

来的に見込まれることを踏まえ、藤沢市はより良い市民サービスの提供と地域づくりを一層推進するためとしている。10月以降、市民向け説明会も各所で開催され、市民への周知が始まろうとしている。これまでの市民センターと公民館は、併設館や単独館、分館など複数の施設が混在しており、教育委員会所管と部局所管で管理・運営する部局も分かれていた。施設利用の範囲を拡充するとともに地域業務と公民館業務をまとめて行うことで、「多様な福祉課題への相談支援体制を構築し誰もが気軽に立ち寄れる身近な施設運営を目指す」とのこと。

業務は市民自治部の職員が担い、地域コミュニティー拠点として統一性を高めるため名称は市民センターとし、生涯学習事業の実施は藤沢市教育委員会の意見も聞きながら継続していく方向を示唆している。

今後の社会教育委員会の役割も少し変わるかもしれない。前回の経験は経験として持ちつつ、市民の自主的な活動の要となる学びのあり方を今一度考える機会を頂けたように思う。教育や学習といった人材の育成に関する仕組みの完成はあり得ず、時代に即した仕組みをその時代に生きる全ての市民が考え、変化も受け入れる市民性を育てていくスタート地点のように感じている。(て)

## 講座・イベントの

# ごあんない

イベント

日時

■夜活フジサワ「海ゼミ！！」学長が語る海の学び場

11月20日(水) 19:00～20:00

■ITサポート講座「らくらく PowerPoint 講座」

12月9日・16日(月) 13:30～16:00

■プラザ de カフェ ～身近な SDGs～ ハーブを楽しむ

12月10日(火) 10:00～12:00

■まちづくりでつながるクリスマス交流会

12月14日(土) 16:00～17:30

NEW!

## 支援施設からのお知らせ

### ■夜活フジサワ「海ゼミ！！」学長が語る海の学び場

「海をもっと楽しもう！」をテーマに、海の生き物や環境、歴史、海の楽しみ方を学ぶ「湘南 VISION 大学」の話聞いてみませんか？

学長の片山氏をゲストにお招きし、参加者とともに語り合う交流会です。

日時：2024年11月20日(水) 19:00～20:00

会場：市民活動推進センターフロア

登壇：片山清宏氏（NPO 法人湘南ビジョン研究所 理事長）

内容：ゲストトーク、交流会

参加費：無料 定員：20名

対象：地域活動や海での活動に興味がある方

問合せ：藤沢市市民活動推進センター



### ■ITサポート講座「らくらく PowerPoint 講座」

プレゼンテーションのコツ・使い方、プレゼンテーション実践について学べる入門講座です。所属組織の紹介やプレゼンテーション資料づくり、組織の魅力を伝え共感を得るための手法を学びましょう！

日時：2024年12月9日・16日(月) 13:30～16:00

会場：市民活動推進センター会議室

内容：1回目：パワーポイント初級

2回目：パワーポイント中級

受講料：2,500円

対象：NPO・市民活動・地域活動に関わっている方

定員：10名（先着順・貸出PC5台まで）

講師・運営：藤沢市市民活動支援施設サポートクラブ ITサポーター



### ■プラザ de カフェ ～身近な SDGs～ ハーブを楽しむ

気軽にハーブを生活に取り込む知恵を学び、「癒しの時間作り」に役立てます。

日時：2024年12月10日(火) 10:00～12:00

会場：六会公民館2階 第一談話室 講師：沢崎 鉄子 氏

内容：身近にあるハーブを生活に気軽に取り入れる工夫を知る ほか

参加費：500円 定員：20名

対象：ハーブや地域活動への興味がある方など

問合せ：藤沢市市民活動プラザむつあい



### ■まちづくりでつながるクリスマス交流会

ボランティア・市民活動団体、自治会・町内会、企業や個人商店、学校、行政などなど…。一つの団体でできないことでも、協力し合うことで新たな価値を生み出せることがあります。自分の所属している団体等がもう一歩踏み出すための、ヒントと出会いを見つけられる交流会です。

日時：2024年12月14日(土) 16:00～17:30

会場：市民活動推進センターフロア

登壇：NPO 法人湘南食育ラボ、NPO 法人 laule'a ほか

内容：ゲストトーク、交流会ほか 参加費：無料 定員：40名

対象：興味がある方どなたでも

問合せ：藤沢市市民活動推進センター



### ■貸出パソコン（動画等の要求スペックが高い作業用）

施設ボランティアであるサポートクラブメンバーからの寄贈を受け、10月より高スペックパソコンの貸出を開始しています。動画編集や製図、3Dモデリングなど、要求スペックが高い作業を行いたい場合、お声かけください。

発行：藤沢市市民活動支援施設

本館：市民活動推進センター

開館時間 9:00～22:00 火曜休館

※日・祝は9:00～20:00

〒251-0052

神奈川県藤沢市藤沢1031 アーバンセンター藤沢 2F

TEL: 0466-54-4510 FAX: 0466-54-4516

Eメール: f-npoc@shonanfujisawa.com



分館：市民活動プラザむつあい

開館時間 9:00～17:00 月曜休館

〒252-0813

神奈川県藤沢市亀井野4-8-1 六会市民センター2階

TEL&FAX: 0466-81-0222

Eメール: f-npoplaza@shonanfujisawa.com

編集：認定NPO法人 藤沢市市民活動推進機構（藤沢市市民活動支援施設 指定管理団体）

※この情報誌は、サポートクラブのメンバーのご協力により、皆さまのお手元に届いております♪  
サポーターも随時募集中です！